

2025年5月29日

EXPO2025 大阪・関西万博内 立命館大学ゲーム研究センター企画
「京都と遊び」をテーマとした展示のお知らせ

期間：2025年6月16日（月）～6月22日（日）9:15～21:00
場所：2025年大阪・関西万博 関西パビリオン京都ゾーン



（花札「大統領」画像提供：任天堂株式会社）

立命館大学ゲーム研究センター（所在地：京都府京都市）が、大阪・夢洲で開催されている「EXPO 2025 大阪・関西万博（2025年日本国際博覧会）」において、「京都と遊び」をテーマとした企画展示を開催します。本展示では、任天堂株式会社協力の元、明治24年（1891年）頃の花札の版木とその摺り見本や、学生作品を含むビデオゲーム等が展示されます。公式サイトより大阪・関西万博への入場方法など詳細をご確認のうえ、ぜひお越しください。

■イベント名称

産業「イノベーションのDNA」

「独自に発展してきた京都の産業構造の歴史と未来に触れ、伝統と革新の精神を体感」

■会場

2025年大阪・関西万博 関西パビリオン京都ゾーン

■期間

2025年6月16日（月）～6月22日（日）9:15～21:00

※万博会場全体は9:00～22:00開場となります。

■料金

無料 ※万博入場料は別途必要

■予約

関西パビリオンへの入場には事前予約が必要です。詳細は下記パビリオンページよりご確認ください。

・「関西パビリオン」ページ（EXPO 2025 Visitors web サイト）

<https://www.expo2025.or.jp/pavilions/5321e2c6-d74b-44a6-b0e5-74893f5ca0d6>

■展示概要

平安時代には、天皇や貴族が囲碁、双六、歌合せといった様々な遊びをしていた記録が残っている、遊びの土壤のある京都。日本において家庭用ゲームの普及から40年が経過し、2025年には新たなゲーム機も発売され、歴史の中で遊びは形を変え続いていきます。また、立命館大学ではゲーム研究・教育が行われ、京都府は「京都デジタルアミューズメントアワード」など、遊びの未来をサポートしてきました。このような、「京都と遊び」をテーマに展示を行います。

本展示では、任天堂株式会社（1889年創業）協力の元、明治24年（1891年）頃の花札の版木とその摺り見本等を展示します。これは任天堂株式会社において所蔵される版木の中で最も古く、実際の花札の製造に使用されていました。一般に広く公開されるのは今回が初めてとなります。また、2025年6月5日発売のNintendo Switch 2本体等や、立命館大学映像学部の学生作品も同時に展示されます。※ゲームのプレイはできません

本展示を通じ、日本の遊びやゲームの歴史、そしてその未来について考えを深めていただければ幸いです。

■展示企画

立命館大学ゲーム研究センター（センター長 渡辺修司）

所在地：〒603-8577 京都府京都市北区等持院北町56-1 立命館大学

URL：<http://www.rcgs.jp/>

■資料・画像提供、協力

任天堂株式会社

■関連サイト

- 立命館大学ゲーム研究センター web サイトにおける本展示に関するページ

<https://www.rcgs.jp/?p=3197>

- 「関西パビリオン 京都ゾーン 一座きょうと」ページ（EXPO KYOTO 公式サイト）

<https://expokyoto.jp/kyotobooth/>

■本件に関するお問い合わせ先

立命館大学ゲーム研究センター事務局

担当：中村・ディナラ

電話：075-465-8476

FAX：075-465-8245

E-mail: rcgs@st.ritsumei.ac.jp

※ご取材いただける場合は、手続きの関係上、ご取材日の9日前までにお知らせいただけますと幸いです。なお、取材対応は立命館大学ゲーム研究センターであり、任天堂株式会社の製品に関する質問にはお答えできません。また、期間中に対応者が会場に滞在する日は限られており、直接のご質問等ある場合は別途ご相談ください。